

岐阜聖徳学園大学大学院 アセスメントプラン

岐阜聖徳学園大学大学院では、学生の学修成果の測定と把握を行い、教育成果の検証及び改善を目的として、以下の方針に基づき、学修成果の評価を行う。

- 評価指標：岐阜聖徳学園大学大学院における学修成果は、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、機関レベル（大学院）、教育課程レベル（研究科・専攻）、科目レベル（授業・科目）の各段階に評価指標を設けて評価する。

機関レベル（大学院）

	入学前・入学直後： アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証	在学中： カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの検証	卒業後： ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったかどうかの検証
機関レベル（大学院）	入学者選抜 （面接、小論文、調査書等の記載内容、学力試験等）	単位取得状況 学修成果調査 中間発表・最終発表または特定課題研究の評価	専門領域への就職率 学位授与率 学修成果調査 中間発表・最終発表または特定課題研究の評価 修了生向けアンケート

教育課程レベル（研究科）

科目レベル（授業・科目）

<アドミッション・ポリシー（AP）>

アドミッション・ポリシーの検証にあたっては、以下の要件に基づいた評価を行う。

AP1. 知識理解・技能

AP2. 思考力・判断力・表現力

AP3. 主体性・専門性

AP4. 興味・関心

<カリキュラム・ポリシー（CP）>

カリキュラム・ポリシーの検証にあたっては、以下の要件に基づいた評価を行う。

修士課程

CP1. カリキュラムの体系性

CP2. 専門的科目の設置

CP3. 課題解決能力の育成

博士課程（前期）

CP1. カリキュラムの体系性

CP2. 専門的科目の設置

CP3. 課題解決能力の育成

博士課程（後期）

CP1. カリキュラムの体系性

CP2. 高度な専門的科目の設置

CP3. 研究能力の育成

<ディプロマ・ポリシー（DP）>

ディプロマ・ポリシーの検証にあたっては、以下の要件をもって評価を行う。

修士課程

DP1. 専門知識による分析力

DP2. 専門知識の活用力

DP3. 社会貢献力

博士課程（前期）

DP1. 分析力

DP2. 活用力

DP3. 貢献力

博士課程（後期）

DP1. 研究力

DP2. 人材育成力

入学前・入学直後： アドミッション・ポリシーを満たす人材かどうかの検証					在学中： カリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているかどうかの検証				卒業後： ディプロマ・ポリシーを満たす人材になったかどうかの検証			
		国際文化 (修士)	経済情報 博士課程 (前期)	経済情報 博士課程 (後期)		国際文化 (修士)	経済情報 博士課程 (前期)	経済情報 博士課程 (後期)		国際文化 (修士)	経済情報 博士課程 (前期)	経済情報 博士課程 (後期)
教育課程レベル (研究科・専攻)	入学者選抜 (面接、小論文、調査書等の記載内容、学力試験等)	AP1～4	AP1～4	AP1～4	単位取得状況	CP1～3	CP1～3	CP1～3	学位授与率	DP1～3	DP1～3	DP1～2
					学修成果調査	CP1～3	CP1～3	CP1～3	学修成果調査	DP1～3	DP1～3	DP1～2
					中間発表・最終発表または特定課題研究の評価	CP3	CP3	CP3	学会発表、論文発表 または特定課題研究 の評価	DP1～3	DP1～3	DP1～2
									修了生向けアンケート	DP3	DP3	DP2
									資格・免許の取得状況 (国際文化研究科)	DP3		
									専門領域への就職率 (国際文化研究科)	DP3		
科目レベル (授業・科目)	—				授業評価アンケート	CP1～3	CP1～3	CP1～3	—			